



普代が全国生放送

初夏の三陸を旅する「おーい、日本～私の好きな岩手県～」(NHK放送局企画)の生中継が7月3日、太田名部漁港で行われました。

この旅のテーマは「課外授業」。地元の方を講師に迎え、生徒役の漫才師「かつみ♡さゆり」さんが、豊かな海の恵みと、そこに生きてきた人々の技や知

恵を学んでいくものです。お昼過ぎ、太田名部漁港にスタッフや出演者など約45人が到着し、素早く放送機材をセット。「給食タイム」のリハーサルでは、太田名部のはまゆりグループ(合砂陸枝代表)が作ったコンブ料理を食べるシーンを皆さん念入りに確認していました。(写真)



産卵場面に感動!

村天然記念物・チヨウセンアカシジミの観察会が7月20日、上区の深渡橋付近で開かれ、普代小学校(村上悦夫校長、児童101人)の3年生19人がチヨウセンの卵を虫眼鏡で熱心に観察しました。(写真)

観察会は同校の総合学習の一環で、チヨウセンが産卵するお昼の時間帯に設定。チヨウセンアカシジミの会の尾形洋一代表(宮古市)を講師に、なかなか見られないチヨウセンの産卵シーンをじっくり観察。菊池香菜さんは「とっても小さくてかわいかったです」とうれしそうでした。

元気にみこし担ぎ

大漁を祈願する「くろさきまつり」が7月17日、1年ぶりに行われ、「宇賀八坂神社」のみこしと、サケの絵をあしらった子どもみこしが地区内を練り歩きました。

この日は朝から気温が上がり、真夏のような陽気の中、「そ～れ、わっしょい、わっしょい」と子どもたちの威勢のいい掛け声があると、地区の方々も沿道に詰め掛け、神社のみこしに手を合わせ願掛けをしたり、子どもみこしを見送る姿もありました。(写真)まつりはみこしのほか、もちまきや祝賀会なども行われ、地区を挙げて祝いました。

